



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月1日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 明  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 井内 秀樹 (TEL) 03-3985-2020  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	215,798	△0.3	28,555	7.5	33,379	6.4	26,463	11.8
29年3月期第3四半期	216,431	△3.8	26,560	16.9	31,376	7.8	23,670	26.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 36,625百万円 (92.8%) 29年3月期第3四半期 18,994百万円 (△4.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	331.19	330.92
29年3月期第3四半期	296.21	296.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	806,814	692,066	83.8
29年3月期	771,222	665,088	84.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 675,838百万円 29年3月期 649,459百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
30年3月期	—	50.00	—		
30年3月期(予想)				60.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	279,500	△0.1	33,500	4.8	38,500	1.2	30,000	4.2	375.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	90,139,653株	29年3月期	90,139,653株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	10,240,827株	29年3月期	10,234,456株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	79,902,789株	29年3月期3Q	79,909,601株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期のOTC医薬品市場は、目薬や整腸薬などのカテゴリーが好調に推移した一方で、ドリンク剤や総合感冒薬などのカテゴリーが不振だったため、総体的にはやや前年を割り込む結果となりました。

医薬事業につきましては、新薬の創出が困難になりつつあるなかで、医療費適正化諸施策の浸透により、依然として厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、「健康で美しく老いたい」という生活者のニーズに対応すべく、製品開発面では生活者の健康意識の高まりに対応した新しい領域を開拓し、また生活者のニーズを満たす製品開発をより一層進め、新たな需要の創造に努めております。また、販売面では生活者から支持される強いブランドを作るために、生活者との接点の拡大と共感の獲得を目指した活動を実践するとともに、通信販売等の新しいチャネルの拡充による生活者との直接のコミュニケーションにも注力しています。海外市場におきましては、アジアを中心にOTC医薬品の事業開発を積極的に行っております。

医薬事業部門でも、きめ細かい情報提供活動による新薬の売上最大化を図っております。また、開発化合物の早期承認取得を目指すとともに、導入によるパイプラインの強化を進めています。さらに、外部研究機関との連携を強化し、継続的なオリジナル開発化合物の創出に努めております。

当第3四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、2,157億9千8百万円（前年同四半期比△6億3千3百万円、0.3%減—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	1,409億円	(+ 27億円)	1.9%増)
内訳			
国内	1,153億円	(△ 5億円)	0.4%減)
海外	235 "	(+ 31 "	15.4%増)
その他	21 "	(+ 0 "	0.4%増)
<hr/>			
医薬事業	749億円	(△ 33億円)	4.2%減)
内訳			
医療用医薬品	707億円	(△ 47億円)	6.3%減)
その他	42 "	(+ 14 "	49.6%増)
<hr/>			

主要製品の売り上げ状況は次のとおりであります。

#### <セルフメディケーション事業>

当第3四半期連結累計期間売上高は、1,409億円（+27億円、1.9%増）となりました。

主力ブランドでは、ドリンク剤の「リポビタンシリーズ」は、主力の「リポビタンD」が前年を下回り（5.8%減）、シリーズ全体では441億円（6.9%減）となりました。「パブロンシリーズ」は、新製品の発売が売上に寄与し前年比プラスとなり、シリーズ全体では209億円（10.9%増）となりました。毛髪用剤「リアップシリーズ」は、シリーズ全体で123億円（0.3%増）となりました。

一方、アジアを中心に展開中の海外OTC医薬品事業は、138億円（9.6%増）となりました。

#### <医薬事業>

当第3四半期連結累計期間売上高は、749億円（△33億円、4.2%減）となりました。

主な増収品目は、骨粗鬆症治療剤「エディロール」は192億円（9.3%増）、2型糖尿病治療剤「ルセフィ」は36億円（68.3%増）、経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコア」は24億円（123.2%増）でした。一方、β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤「ゾシン」は79億円（37.7%減）、マクロライド系抗生物質製剤「クラリス」は58億円（19.7%減）、末梢循環改善剤「パルクス」は38億円（9.1%減）と、後発医薬品の影響等もあり前年比マイナスとなりました。

利益面につきましては、売上原価の減少により売上総利益が増加し、営業利益は285億5千5百万円（7.5%増）、経常利益は333億7千9百万円（6.4%増）となりました。また、投資有価証券売却益等によって親会社株主に帰属する四半期純利益は264億6千3百万円（11.8%増）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ356億円増加し、8,068億円となりました。有価証券が264億円、受取手形及び売掛金が163億円それぞれ増加しましたが、投資有価証券が76億円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ86億円増加し、1,147億円となりました。繰延税金負債が38億円、未払金が22億円それぞれ増加しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ270億円増加し、6,921億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益265億円、その他有価証券評価差額金82億円が主な増加要因であり、剰余金の配当88億円が主な減少要因でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期までの業績等をふまえ、平成29年5月15日に公表しました通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

ー売上高

売上高予想を従来予想から5億円引き上げ、2,795億円に修正いたします。

セルフメディケーション事業では、国内につきましては、第3四半期までの売上げの状況をふまえ、「リポビタンシリーズ」の下方修正、「パブロンシリーズ」の上方修正などを織り込み、従来予想から6億円引き上げます。海外につきましては、ドリンクでの計画を上回る成長や為替の円安影響などを織り込み、従来予想から14億円引き上げます。結果としてセルフメディケーション事業全体では従来予想から22億円引き上げ、1,835億円に修正いたします。

医薬事業では、抗菌薬の処方減少から「クラリス」等を下方修正し、医薬事業全体では従来予想から17億円引き下げ、960億円に修正いたします。

ー利益面

営業利益の予想を335億円（従来予想比50億円増）、経常利益の予想を385億円（従来予想比40億円増）、親会社株主に帰属する当期純利益を300億円（従来予想比60億円増）に修正いたします。販売費及び一般管理費と持分法投資損益を見直し、第3四半期までに計上した投資有価証券売却益を予想に織り込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	201,275	207,965
受取手形及び売掛金	69,535	85,788
有価証券	-	26,386
商品及び製品	17,196	16,344
仕掛品	2,064	1,809
原材料及び貯蔵品	8,239	8,636
繰延税金資産	5,819	6,368
その他	4,899	5,676
貸倒引当金	△85	△111
流動資産合計	308,946	358,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,957	47,971
機械装置及び運搬具(純額)	6,372	5,557
土地	37,457	37,035
建設仮勘定	177	315
その他(純額)	3,318	3,148
有形固定資産合計	97,282	94,028
無形固定資産		
のれん	16,768	15,611
販売権	4,068	3,070
商標権	9,966	9,159
ソフトウェア	3,046	3,290
その他	523	648
無形固定資産合計	34,372	31,779
投資その他の資産		
投資有価証券	252,459	244,856
関係会社株式	67,550	66,087
長期前払費用	665	813
退職給付に係る資産	2,496	2,678
繰延税金資産	6,783	6,974
その他	913	975
貸倒引当金	△248	△244
投資その他の資産合計	330,620	322,140
固定資産合計	462,276	447,949
資産合計	771,222	806,814

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,327	22,062
未払金	13,047	15,221
未払法人税等	5,774	7,046
未払費用	9,997	11,494
返品調整引当金	750	1,289
賞与引当金	3,854	2,911
その他	1,347	3,210
流動負債合計	58,097	63,236
固定負債		
役員退職慰労引当金	983	996
退職給付に係る負債	23,505	23,589
繰延税金負債	16,130	19,980
その他	7,417	6,945
固定負債合計	48,036	51,511
負債合計	106,134	114,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,272	15,271
利益剰余金	644,038	661,704
自己株式	△67,727	△67,785
株主資本合計	621,583	639,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,234	44,433
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△2,195	△2,023
退職給付に係る調整累計額	△6,162	△5,761
その他の包括利益累計額合計	27,875	36,647
新株予約権	478	565
非支配株主持分	15,150	15,662
純資産合計	665,088	692,066
負債純資産合計	771,222	806,814



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	216,431	215,798
売上原価	77,984	74,583
売上総利益	138,446	141,215
返品調整引当金戻入額	696	720
返品調整引当金繰入額	777	1,236
差引売上総利益	138,365	140,698
販売費及び一般管理費	111,804	112,143
営業利益	26,560	28,555
営業外収益		
受取利息	3,885	3,727
受取配当金	1,534	1,645
その他	561	610
営業外収益合計	5,981	5,983
営業外費用		
支払利息	0	1
持分法による投資損失	325	1,074
為替差損	737	-
支払手数料	64	67
その他	37	15
営業外費用合計	1,165	1,159
経常利益	31,376	33,379
特別利益		
固定資産売却益	13	749
投資有価証券売却益	3,709	5,598
特別利益合計	3,723	6,348
特別損失		
固定資産処分損	105	44
投資有価証券売却損	33	-
特別損失合計	138	44
税金等調整前四半期純利益	34,961	39,683
法人税等	9,859	11,999
四半期純利益	25,101	27,683
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,431	1,220
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,670	26,463

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	25,101	27,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,606	7,782
為替換算調整勘定	△8,261	499
退職給付に係る調整額	527	404
持分法適用会社に対する持分相当額	20	254
その他の包括利益合計	△6,107	8,941
四半期包括利益	18,994	36,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,681	35,234
非支配株主に係る四半期包括利益	1,312	1,390

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	138,160	78,270	216,431	—	216,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	138,160	78,270	216,431	—	216,431
セグメント利益(注2)	22,744	4,981	27,725	△1,165	26,560

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	140,853	74,944	215,798	—	215,798
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	140,853	74,944	215,798	—	215,798
セグメント利益(注2)	22,216	7,396	29,613	△1,058	28,555

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。